



国土交通省  
信濃川河川事務所

記者発表資料

平成19年6月25日

## 災害時における 迅速かつ的確な対応と判断能力の向上 を目指して！

◆◆職員にはシナリオを知らせず、本番さながらの演習を実施します◆◆

近年、全国各地で記録的な集中豪雨による大規模な災害が発生しています。

新潟県内においても、平成16年7月に発生した「平成16年新潟・福島豪雨」をはじめ数々の災害が発生しています。

昨年7月には、長野県を襲った集中豪雨により、信濃川河川事務所管内においても、小千谷市内の信濃川に設置している水位観測所において「はん濫危険水位」を超過し、いつ災害が発生してもおかしくない状況となりました。

信濃川河川事務所では本格的な出水期を前に、信濃川・魚野川の洪水時における職員の迅速かつ的確な対応と判断能力の向上を目的に、全職員にシナリオを知らせず、実動に近い形での危機管理演習（ロールプレイング演習）を下記のとおり実施します。



昨年の演習の様子

### 記

1. 日 時： 平成19年6月28日（木） 13:05～15:05

2. 場 所： 信濃川河川事務所 災害対策室 他  
長岡市信濃1-5-30

3. 演習参加者： (1) 指揮部（コントローラー）  
防災エキスパート等  
(2) 演習部（プレイヤー）  
信濃川河川事務所職員

4. その他： (1) 演習は公開で行いますが、カメラ撮影等は演習に影響のない範囲でお願いします。  
(2) 降雨による管内河川の増水や他の災害により、事務所が防災体制を発令した場合は中止としますので、ご了承をお願いします。

取扱い

本資料の発表を以て解禁とする。

同時記者発表クラブ

長岡市政記者会  
週刊記者会

【問い合わせ先】

北陸地方整備局信濃川河川事務所  
副所長（技術） 杉本 利英  
電話）0258-32-3020  
調査第一課長 山本 悟司  
電話）0258-32-3243

## ロールプレイング演習のしくみ

- ◆ 演習者で構成する演習部(プレイヤー)と演習を運営・進行・評価等を行う指揮部(コントローラー)にわかれて行う。
- ◆ 通常の演習はシナリオに基づき実施するが、本演習では、演習部には、シナリオは知らされない。
- ◆ 指揮部から災害状況等が付与され、演習部が判断・実行し、演習は進行される。

	ロールプレイング演習	従来の演習
シナリオ(演習部)	知らない	事前に知っている
災害状況の付与	演習時に付与	事前に知っている
状況の把握	相互対応	シナリオ
状況判断	相互対応	シナリオ
指令	相互対応	シナリオ
実践力の向上	演習評価を行い本番に生かす	シナリオがあるので反省点が見つけにくい

